

[復興支援道路（相馬福島道路）]

東北中央自動車道 相馬西道路
未来の土木技術者が建設工事現場を体験
～相馬農業高校が相馬西道路を見学～

平成29年9月12日（火）に、東北中央自動車道相馬西道路の工事現場を福島県立相馬農業高校環境緑地科の生徒さんが見学します。

この見学会は、一般社団法人福島県建設業協会の主催によるもので、高校生が直接現場の状況を目にすることにより、建設業界の役割や魅力を伝えること、若年者の職業意識を高めることを目的に実施するものです。

未来を担う若き技術者の皆さんに、実際の工事現場を身近に知ってもらい、これを機会に建設業への理解が深まればと考えております。

1. 日時：平成29年9月12日（火） 15:00～15:50

2. 場所：東北中央自動車道 相馬西道路
（仮）いまだこうかきょう今田高架橋

3. 見学者：福島県立相馬農業高校 環境緑地科2年生 21名

4. 取材について

- ①取材を希望される方は、前日17:00までに別紙「現場見学会取材申込書」によりFAXにてご連絡をお願いします。
- ②当日は、15:00までに「今田高架橋の工事現場（別紙位置図参照）」にお集まり下さい。
- ③雨天でも開催しますが、豪雨等が予想される場合は中止になる場合があります。

問い合わせ先

【見学会に関するお問い合わせ】
一般社団法人福島県建設業協会
事業部業務課：木田、鎌田
TEL:024-521-0244

【事業に関するお問い合わせ】
国土交通省 東北地方整備局
磐城国道事務所 0246-23-2211（代表）
工務課長 橋本 幸雄（内線411）
【工事に関するお問い合わせ】
磐城国道事務所相馬出張所 0244-35-1145
出張所長 八鍬 孝憲

※発表記者会等：いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課、南相馬市役所記者クラブ

現場見学会取材申込書

(申込日 平成 年 月 日)

現場見学会日時	平成29年 9月12日(火)
現場見学場所	東北中央自動車道 相馬西道路 (仮) 今田高架橋
取材申込者	○会社名 : ○記者氏名 : ○人数 : 名 ○連絡先 : TEL (当日連絡がつく電話番号としてください)
ヘルメット が必要な方は記 載	○ヘルメットの必要個数 個
その他質問事項	

【注意事項】

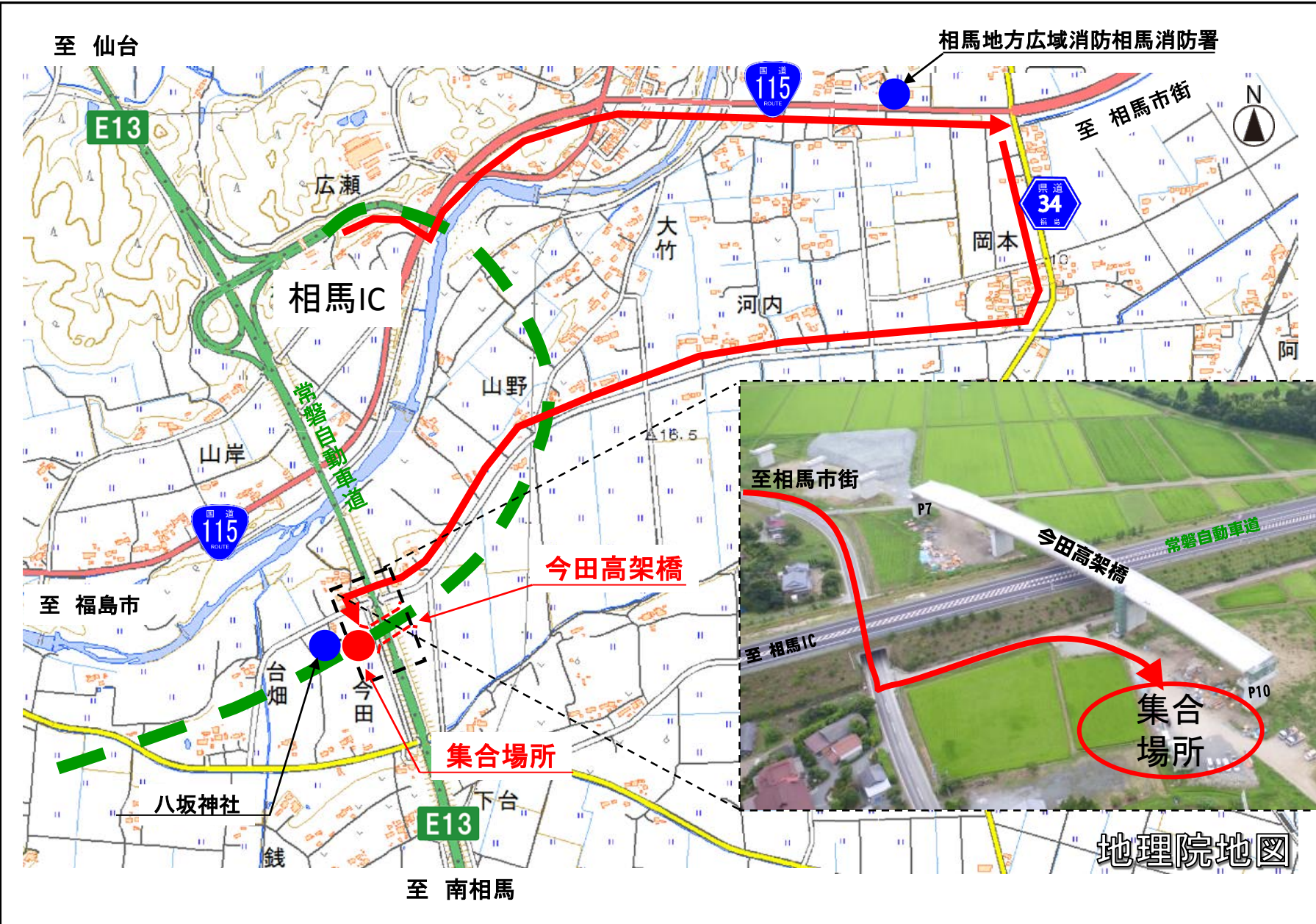
ヘルメットの準備をお願いします。ヘルメットを準備できない方はこちらで用意しますのでご連絡ください。

国土交通省 磐城国道事務所 調査課 あて
〒970-8026
福島県いわき市平字五色町8-1

FAX : 0246-25-0241

●今田高架橋 現場見学集合場所 (9月12日(火)15:00)

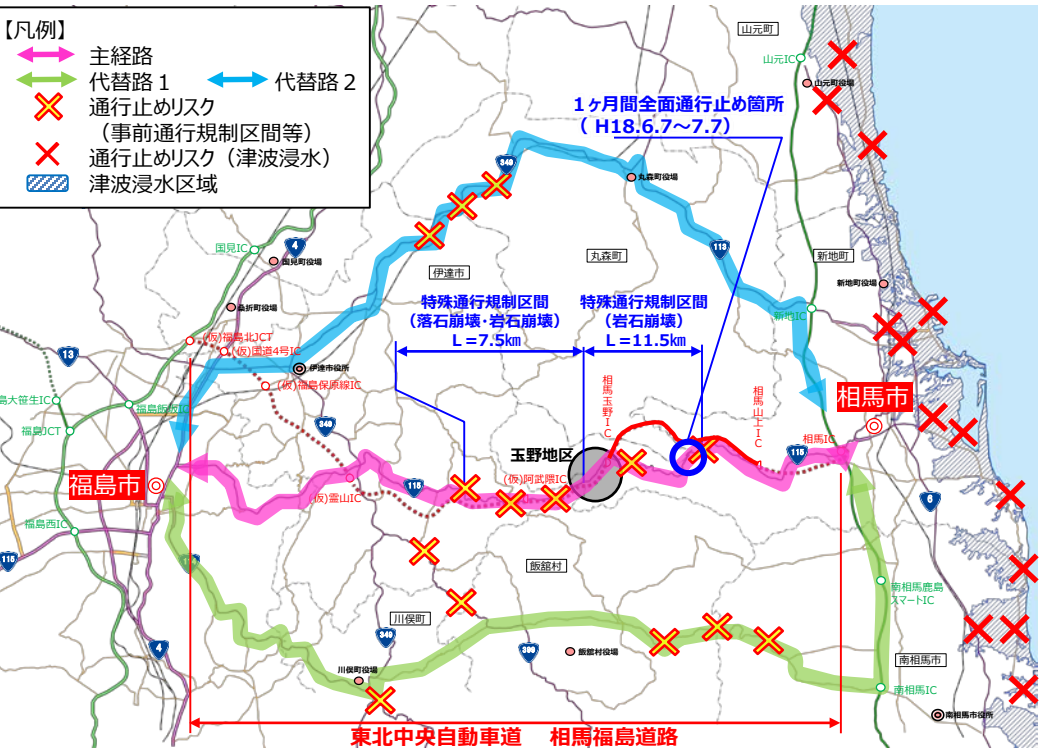
別紙位置図



【相馬福島道路】期待される効果① 災害時の代替路確保

- ◆阿武隈東道路の並行現道区間においては、平成18年度に約1ヶ月間の全面通行止めが発生し、相馬市玉野地区では相馬市内へのアクセスが寸断
- ◆相馬福島道路の整備により、通行止めリスクが回避され、生活の安全・安心が確保

▼福島県県北地方と相双地方間の通行止めリスク



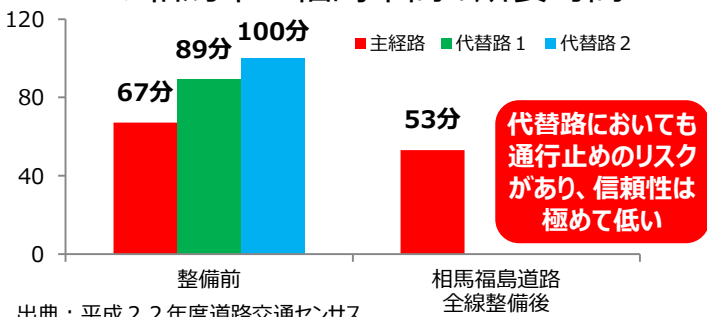
国道115号では災害による通行止めが頻発 (過去10年で14回の全面通行止めが発生)



【相馬市玉野地区長の声】

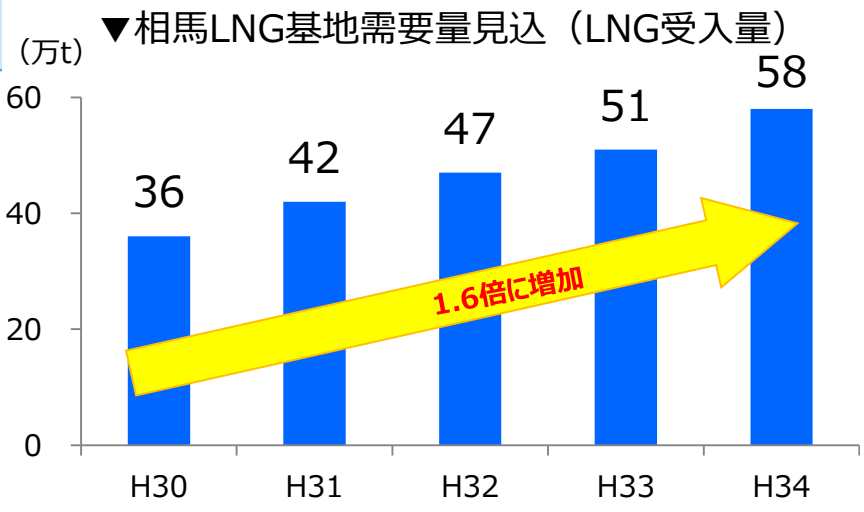
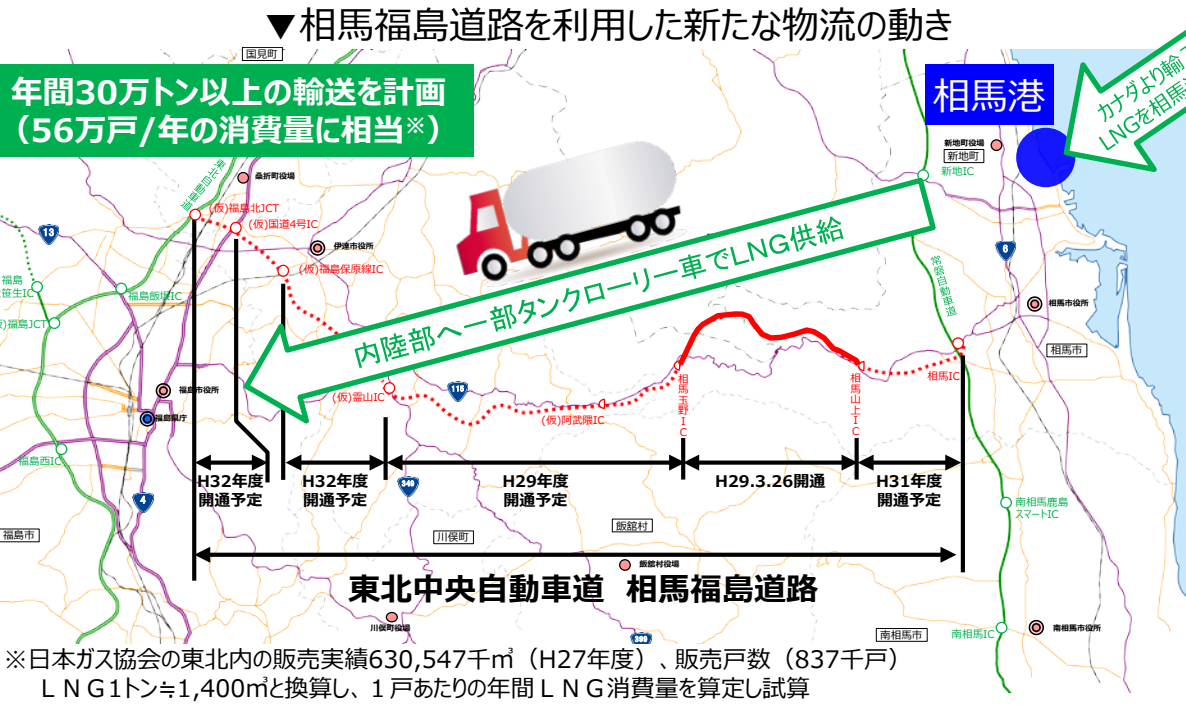
- 玉野地区住民は、相馬市街地へ通勤・通学し、病院や福祉施設にも通っています。
- 豪雨時や豪雪時などは、国道115号が通行止めとなることが多く、相馬市街地と行き来することができなくなり集落が孤立することがあります。
- 相馬福島道路が開通すると、通勤や買い物などの生活が便利になり、家族が安心して地元で暮らせるようになるため、一日も早い開通を望みます。

▼相馬市⇄福島市間の所要時間



【相馬福島道路】期待される効果② 相馬港と内陸部との連携が強化され、地域産業が活性化

- ◆ 相馬港に立地するLNG基地は平成29年度に操業開始を予定。内陸部へ年間30万トン以上の輸送を計画
- ◆ 相馬福島道路が開通すると、内陸部への安定確実なLNGの供給が可能
- ◆ 相双地区の企業にとっては流通エリアや営業エリアの拡大により、収益が上がり、地域産業の活性化・地域雇用拡大が期待



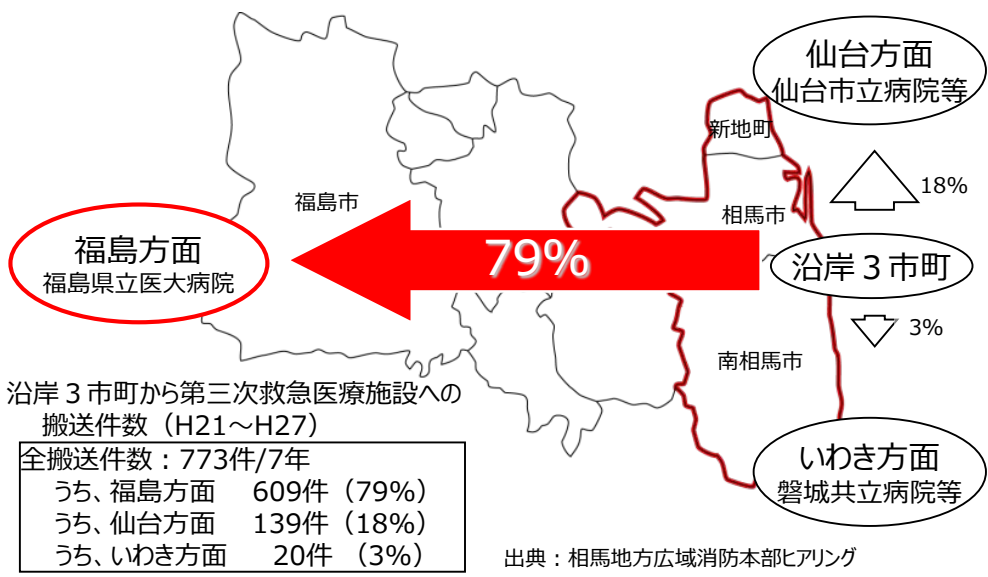
【相馬商工会議所の声】

- 平成29年度末に操業開始する相馬LNG基地の進出と併せて、関連企業の誘致を促進していきます。
- 東北中央自動車道 相馬～福島の開通は、相馬中核工業団地への企業誘致や相馬地方の地場産品、工業製品の出荷・流通エリアの拡大や、営業エリアの拡大が可能となり、相馬地域の地方創生に寄与するものと期待し、一日も早い開通を望みます。

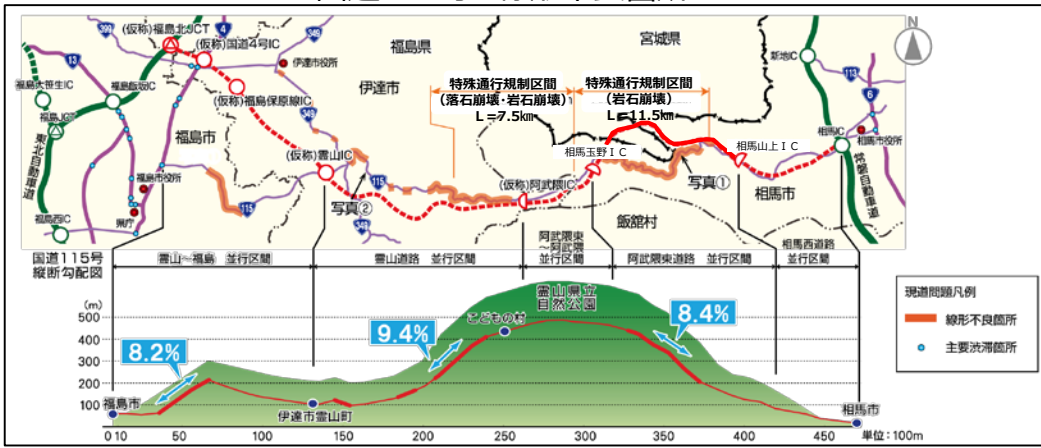
【相馬福島道路】期待される効果③ 救急医療施設への速達性・搬送中の安定性向上

- ◆ 相馬市等の沿岸部は、第三次救急医療施設がないため、福島市にある福島県立医大病院へ約8割が搬送
- ◆ 線形不良箇所が多く、消防署からは搬送時の課題が指摘。道路整備による安定走行で患者負担が軽減
- ◆ 相馬市から福島県立医大病院までの搬送時間が約21分短縮され、相馬市における60分圏人口も大幅に増加

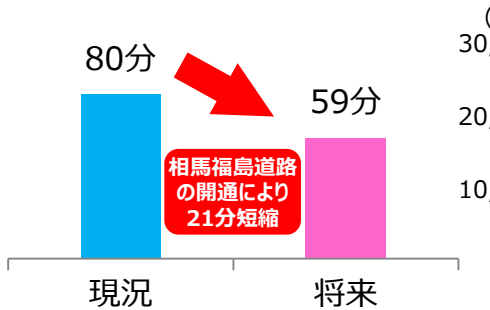
▼ 第三次救急医療施設への搬送割合 (H21~H27)



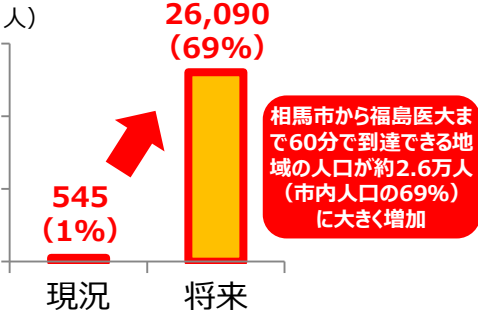
▼ 国道115号の線形不良箇所



▼ 相馬市役所→福島県立医大病院への搬送時間短縮



▼ 福島県立医大病院60分圏人口の変化 (相馬市)



出典：平成22年度道路交通センサス
※整備後の所要時間は想定規制速度(80km/h)で算出

出典：平成22年度道路交通センサス
※民間プローブデータを用いて所要時間を算出し、60分以内で到達可能な地域の人口を集計



【霊山道路並行区間】

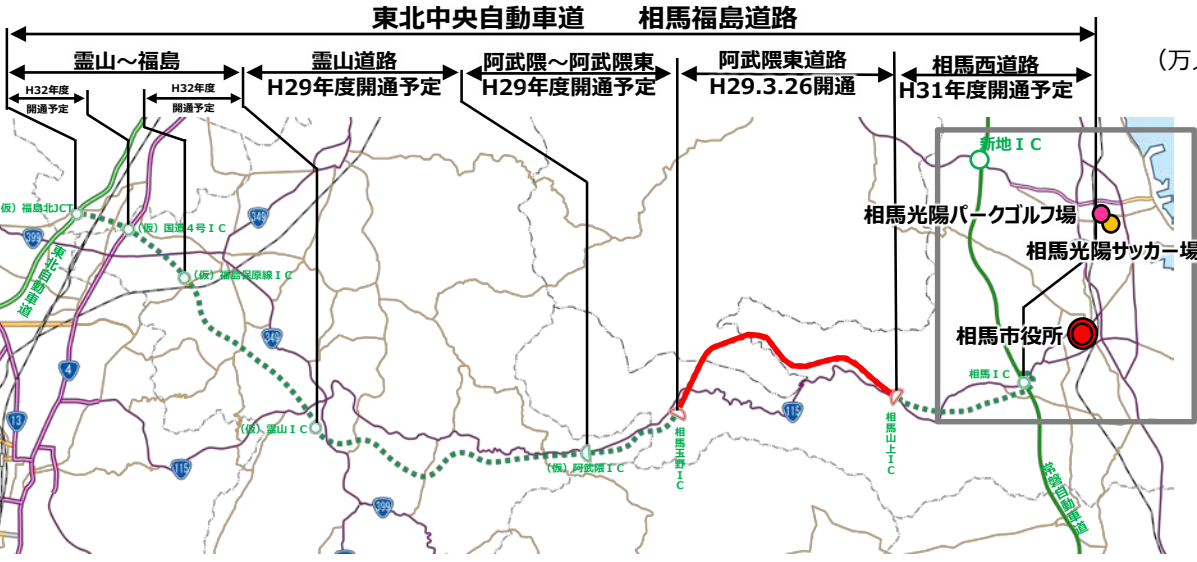


【阿武隈東道路並行区間】

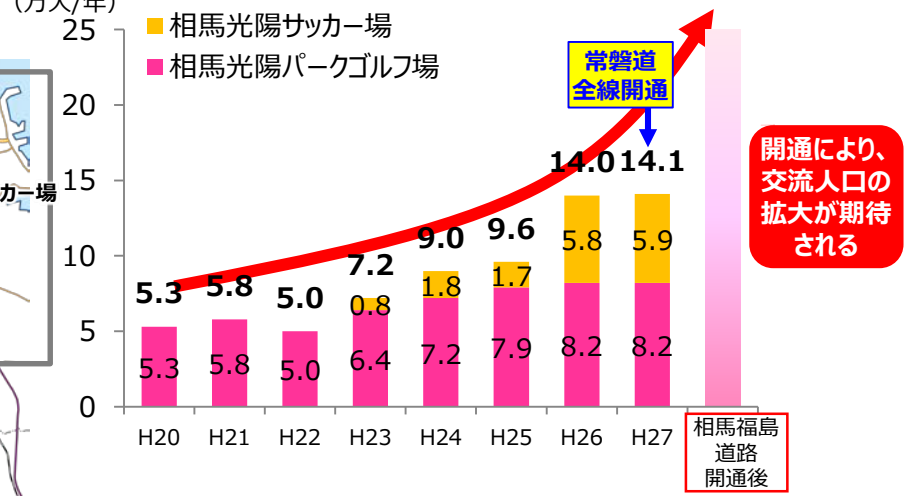
【相馬消防署の声】
■ 国道115号は急カーブや急勾配等の区間が多くあり、緊急車両も安定した走行が出来ず患者に負担を掛けている。

【相馬福島道路】期待される効果④ 交流人口拡大を支援

- ◆相馬市ではスポーツ交流人口の拡大を目指した取り組みを促進し、相馬市光陽地区にパークゴルフ場やサッカー場等、東北最大級となる充実したスポーツ施設を整備
- ◆相馬福島道路開通により内陸方面へのアクセスが向上し、更なるスポーツ交流人口の拡大が期待



▼相馬市内パークゴルフ場及びサッカー場の入込客数の推移



スポーツ施設の充実によりスポーツを通じた交流人口の拡大を目指す

相馬光陽パークゴルフ場

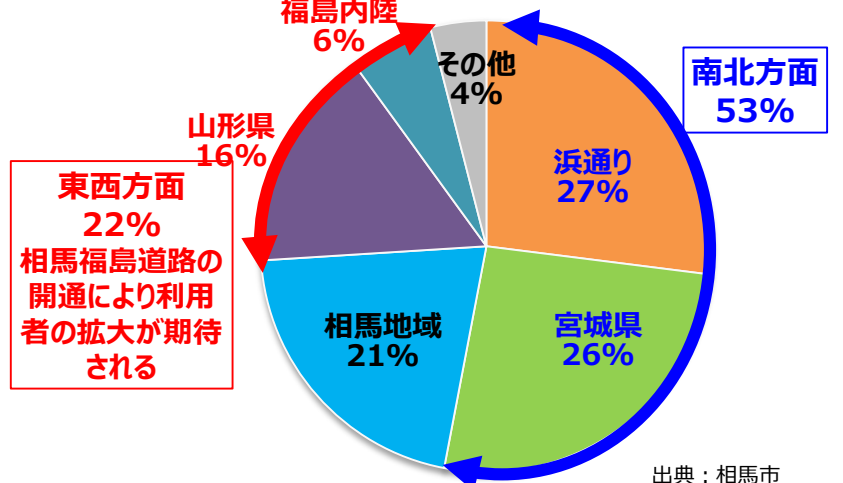
東北最大級のパークゴルフ場
敷地面積：118,776㎡(東京ドームの約2.6倍)
9コース81ホール国際認定コース

相馬光陽サッカー場

福島県内または東北内の高校生や社会人の各種大会を開催
約11ヘクタール
天然芝コート：3面
人口芝コート：2面 (FIFA・JFA公認)
練習用コート：1面

▼常磐道全線開通記念パークゴルフ大会 出典：相馬市

参加者(約300名)地域別 (H27.3.15)



出典：相馬市